

たが

2015年11月(第147号)

こんにちは 
議会です!!

(滋賀県多賀町)



運動会の玉入れ～どちらがたくさん入ったかな?(たきのみや保育園)

- ・ 26年度の決算を審査 …… 2
- ・ 9月定例議会 …… 6
- ・ 町長の行政報告 …… 7
- ・ 委員会審議 …… 8
- ・ 町政を問う(一般質問) …… 11
- ・ たが いいところ 再発見!! …… 18

歳出

決算額 46億7,816万円

約2億円の減少
(前年度比)

子育て支援など民生費が増加
住民生活の安全安心を確保

防災・行政事務・その他

7億8,831万円

- 総務費 5億7,810万円
- 消防費 1億7,976万円
- 災害復旧 3,055万円

将来への積立て

9,650万円

- 中央公民館建設 ... 8,178万円
- まちづくり基金 ... 1,320万円
- その他 152万円

地方債の返済

4億

2,685万円

まちづくり

11億
6,449万円

- 土木費 ... 7億1,138万円
- 農林水産業費 3億3,133万円
- 商工費 4,618万円
- 議会費 7,560万円



教育・子育て (学校教育など)

6億9,946万円

- 幼稚園 4,587万円
- 小学校 1億7,894万円
- 中学校 1億2,243万円
- 生涯学習 2億7,265万円
- 事務費 7,957万円

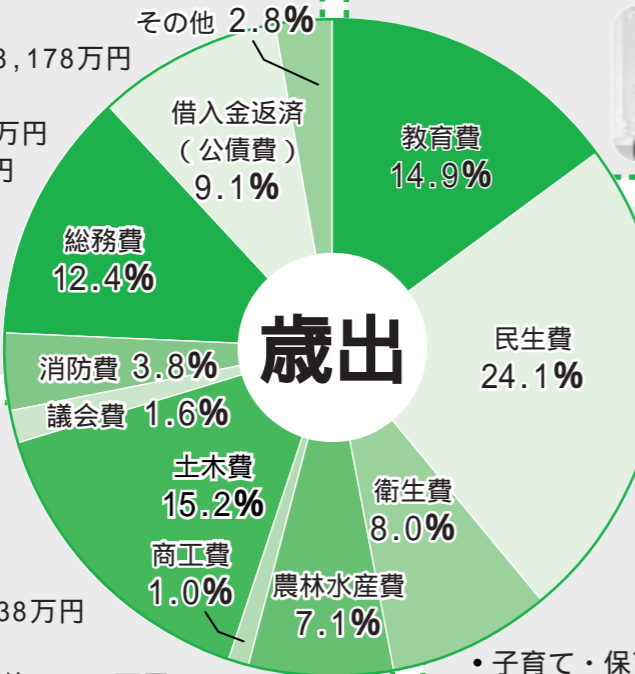


健康づくり・福祉

(子育て、障害福祉など)
15億241万円



- 子育て・保育 4億5,755万円
- 社会福祉 6億7,056万円
- 保健衛生 3億7,430万円



基金 (積立て)

名称	積立て額 (は使った額)	26年度末残高
中央公民館建設基金	8,178万円	6億4,230万円
まちづくり基金	1,076万円	1,270万円
元気臨時交付金基金	1億5,220万円	0円
社会福祉基金	1,325万円	1億2,152万円

歳入

決算額 49億8,072万円

約2億円の減少
(前年度比)

法人税が増収 国・県の制度を活用

26年度決算を審査

借入れ金(地方債の新規発行)

5億4,674万円

- 臨時財政対策債 2億4,104万円
- 一般事業 1億5,000万円
- 施設整備事業 6,400万円
- その他 9,170万円



町税

18億9,618万円

- 住民税(個人×法人) 7億1,055万円
- 固定資産税 ... 11億1,480万円
- 軽自動車税 2,238万円
- たばこ税 4,729万円
- 鉾産税 116万円



地方交付税

市町村の均衡をはかるための交付金

9億
1,072万円

国庫支出金

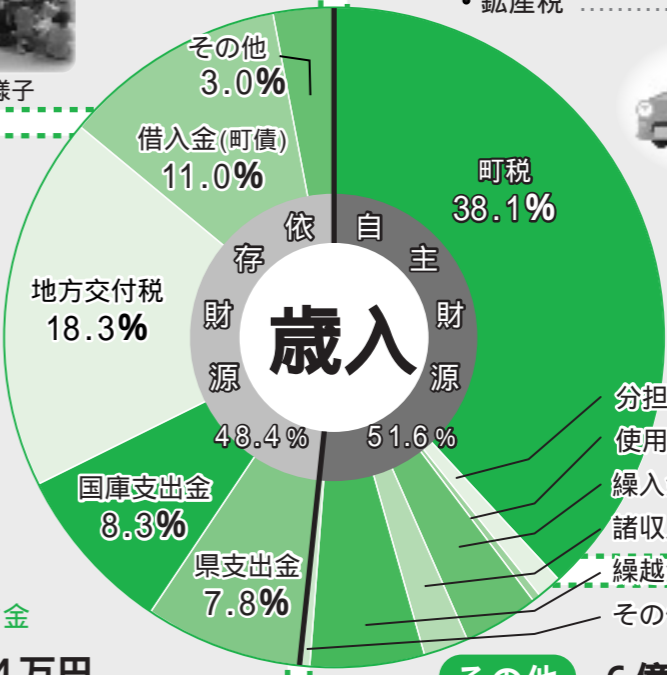
国が使用目的を特定した交付金

4億1,144万円

県支出金

県が使用目的を特定した交付金

3億8,639万円



その他 6億7,314万円

- 前年度からの繰越金 2億8,138万円
- 他会計からの繰入金 1億8,642万円
- 諸収入 1億723万円
- 分担金・負担金 5,913万円
- 使用料・手数料 1,962万円
- 財産収入 579万円
- 寄付金 1,357万円
- 分担金及び負担金 1.2%
- 使用料・手数料など 0.4%
- 繰入金 3.7%
- 諸収入 2.2%
- 繰越金 5.6%
- その他 0.4%

区分	一般会計の事業	特別会計の事業(上下水道)
前年度残高	49億1,534万円	62億2,975万円
新規借入れ 返済(元金)	+ 5億4,674万円 - 3億6,608万円	+ 3億2,740万円 - 2億3,723万円
地方債残高	50億9,600万円	63億1,992万円
合計	114億1,592万円	

地方債 (借入れ)

おもな決算項目 (万円)

愛のリタクシー事業負担金	1,707
コミュニティーバス運行補助	4,142
マイナンバー法システム整備	1,187
まちづくり活動支援交付金	1,754
若者定住支援	731
福祉バス購入	1,411
ふるさと納税記念品	611
6町システム共同化	1,630
芹谷消防センター建設	3,737
防火水槽整備(1基)	981
小型動力ポンプ(1台)	172
災害用備蓄品の購入	63
「広報たが」発行	495

防災・行政事務

(消防費・総務費)



愛のリタクシー

③ 3路線(河内線、大君ヶ畑線、萱原線)で8397人の利用。前年度比で21.3%の増加となった。利便性向上のため、停留所の増設や、回数券の販売を実施した。

愛のリタクシーの利用率は

③ 年間1271万円の寄付をいただき、町のPRにつながった。多賀町産米キヌヒカリが好評を得て、1000件の希望があった。

ふるさと納税の実績は記念品の内容は

③ 新規分35件、合計で731万円を助成した。

③ 住宅を新築したり、多世代同居のための増築をした若者に対し、固定資産税を3年間助成する。継続分74件、

若者定住支援事業の内容は

③ 計画に基づいた自主的な自治活動に対し交付される。35集落に交付した。集落の活性化が図られた。

まちづくり活動支援交付金の実績は

おもな決算項目 (万円)

がんばる商店応援補助金	762
住宅リフォーム補助	646
多賀観光協会運営補助	500
商工会運営補助	770
近江の地獄めぐり事業委託	268
環境保全型農業交付金	595
鳥獣害対策事業補助金	995
自然体験宿泊施設(2期工事)	6,239
森林環境学習事業(やまのこ)	860
間伐材製品利用促進	418
道路・橋梁工事	3億1,988
急傾斜対策工事(八重練地先)	8,323
災害復旧工事(河内地先)	3,055
議会中継放送設備	178

まちづくり

(商工費・農林水産業費・土木費・議会費)



がんばる商店応援

③ 新規開業が3件で652万円。店のしつらえ改修が1件で100万円。三種の神器改修が1件で10万円を補助した。

がんばる商店応援補助の内訳は

③ 木製の机を製作し、小学校へ57台、中学校へ83台を配布した。

間伐材製品の利用は

③ 多賀小、大滝小も含め、25校、1159人の児童を受け入れた。

「やまのこ」事業の実績は

③ ニホンザルの被害対策として、囲いワナ、遠隔操作システム、捕獲システムを整備した。年間では、ニホンジカ816頭、イノシシ81頭、ニホンザル20頭を捕獲した。

鳥獣害防止対策の内容は

教育・生涯学習

(学校教育費・社会教育費)

おもな決算項目 (万円)

中学生海外派遣事業	604
ICT設備の整備	6,336
ALT教員の配置	397
特別支援教員の配置(小・中)	1,233
通学費負担金(多賀中)	568
プール解体(多賀中)	778
獣害フェンス整備(多賀中)	497
非常階段の設置(多賀小)	1,350
幼稚園防犯カメラ	82
幼児教育あり方検討委員会	33
生涯学習あり方検討委員会	15
文化財調査(土田遺跡など)	1,201
あけぼのパーク改修工事	2,534

③ 待機児童対策、幼児教育施設のあり方、山間地域での人口減少。

幼児教育あり方検討委員会の議題は

③ バス通学の費用を負担している。年間11万円を47人分。年間3万円を4人分負担した。

通学費負担の内訳は



中学生の海外派遣

③ ニュージーランドに14人を派遣した。

中学生海外派遣の内容は

③ 土田遺跡の発掘、石仏谷墓跡などの測量調査、胡宮神社社務所庭園の保存管理計画策定。

文化財調査の対象は

③ 多賀小に6人、大滝小に2人の支援教員を配置した。

特別支援教員の配置は

健康づくり・福祉

(民生費・衛生費)

おもな決算項目 (万円)

放課後児童クラブ建設	7,006
川相生活改善センター改修	2,943
福祉医療助成	6,957
保育園防犯カメラ	93
長寿祝い金	98
配食サービス委託	202
シルバー人材センター補助金	848
老人クラブ助成	100
斎場改修工事	6,133
各種予防接種・検診	3,746
不妊治療補助	156
臨時福祉給付金	1,563
子育て世帯臨時給付金	891

③ 満90歳の35人に1万円。満95歳の14人に3万円。満百歳の2人に10万円を贈った。

長寿祝い金は

③ 子育て医療費(小学生)1346万円。乳幼児1170万円。障がい者2174万円である。

福祉医療費の内訳は

③ 20〜39歳の生活習慣病検診は50人。がん検診は1984人。結核検診は636人。乳幼児の予防接種は、1467人。高齢者のインフルエンザは、1719人。

各種検診の受診者数は

③ 助成したのは、30人以下の9団体。30人以上の20団体である。

老人クラブの助成対象数は

③ 自炊が困難なひとり暮らしの高齢者が対象。一食600円で、年間2000食を配った。

配食サービスの内容は



どう使われたか 私たちの税金

26年度の決算を
審査・認定しました

一般会計

歳入決算

49億8072万円

歳出決算

46億7816万円

特別会計

国民健康保険事業など

(8ページ)

水道事業など

(9ページ)

監査委員の報告

収支は2億5935

万円の黒字である。

自主財源は51%と前

年度に比べ増加。

人件費が減少し、経

費削減に努めている。

地方債残高が上昇し、

慎重な対応を。

健全化判断比率は基

準以下で良好な状態

代表監査委員

寺西久和

財政健全化の指標 (%)

健全化判断比率	26年度	基準
実質赤字比率		15.0
<small>(赤字額がないので算定されません)</small>		
実質公債費比率	3.6	25.0
将来負担比率	27.2	350.0

財産区の決算 (万円)

区分	歳入	歳出	収支
多賀財産区	14	9	5
大滝財産区	101	40	61
霊仙財産区	47	5	42

補正予算を審査・可決しました

ささゆり保育園

建築工事費の追加

27年度の一般会計

1400万円増

個人情報保護条例が
改正されました

マイナンバー制度が
始まります

個人情報ファイル

行政機関は、個人を識

別する番号と、特定個

人情報が記載された

ファイルを作成する。

利用停止請求

必要な範囲を超えて個

人情報が保有されてい

るとき、情報の利用停

止・消去を請求できる。

手数料条例が
改正されました

個人番号カード
紛失時の再交付

通知カード

個人番号カードを受取

るための引換えカード

が送付される。

再交付料 500円

個人番号カード

顔写真入りで、個人番

号が記載される。

暗証番号を持つ。

再交付料 800円

教育委員に
再任されました

福本 香苗氏
(敏満寺)

人権擁護委員に
推薦しました

西河 仲市氏
(佐目)

意見書を国へ
提出します

高浜原発の再稼働に関
する意見書

故中川泰三氏(元町長)を名譽町民に

すぐれた指導力

洞察力

多賀町議会議員

(4期)

(議会議長を4年間)

多賀町長(3期)

中川氏の功績

工業団地の造成

ほ場整備事業

公共下水道の整備

犬上ハートフル

センターの設立

多賀町史の編纂

小学校の統合

商工観光に尽力

町長の行政報告

教育・生涯学習

クマによる人身事故以

来、子どもの登下校時の

安全対策として見守り、

広報活動を実施した。

多賀ささゆり保育園で

は、増築工事を予定し、

来年3月の完成を目指す。

子ども・家庭応援セン

ターでは、臨床心理士や

学校相談員がいじめや虐

待をなくすための相談に

応じている。

町制60周年の記念行事

として、大君ヶ畑の花ご

よみ観察会を開催した。

まちづくり

多賀絵馬通り線の道路

改良は、多賀大社鳥居前

から190mを予定して

いる。



改良予定の絵馬通り

補正予算を審査・可決

27年度一般会計 補正予算

1億4680万円増

おもな事業名	(万円)
ふるさと納税記念品	225
草の根ハウス改修(佐目)	100
マイナンバー制度印刷・郵送	108
新入生通学助成	78
育児支援助成金	165
芹川ダム補強工事	454
合併処理浄化槽補助(河内)	315
鳥獣害防止対策備品	173
急傾斜対策工事	450
道路測量設計委託	322
中学校給食調理・運搬	396
文化財発掘調査・新事業	365
社会福祉基金積立て	2,000
中央公民館建設基金積立て	8,000
まちづくり基金積立て	450

問 新入生への助成内容

と、今後は。

答 新小学1年生にラ

ンリユックを、新中

学1年生にスポーツ

バッグを助成する。

今後も継続していく。



臨時議会

7/15

補正予算を
審査・可決しました

ささゆり保育園が

増改築されます。

27年度 一般会計

4163万円増



ささゆり保育園乳児室建設計画



7号踏切(多賀・土地先)

道路測量設計の
内容は

答 近江鉄道の踏切付近

の交差点に、右折レー

ンを設けるための測量

である。近くに団地の

計画もあり、安全性を

高め事故を防ぎたい。



花ごよみ観察会(5/31)

・(仮称)多賀スマート
インターチェンジの計画
が、全国17カ所の準備調
査箇所を選定された。
8月には、国・県・ネ
クスコ、町による準備会
が開かれた。



大君ヶ畑浄水場

安全・安心のまちづくり

産業建設常任委員会

9/14

4事業の決算、補正予算1件を審査しました

水道事業

老朽管の更新、耐震化の進捗は。

老朽管は38%、耐震化は17%である。

南後谷浄水場の軟水処理は。

国の基準300度以内で問題はない。

下水道事業

水洗化率と利用者数は。

約90%で6011人。

施設の老朽化は。今後は維持管理の時代に入る。

農業集落排水事業

萱原、佐目地区での利用状況は。

萱原で161人、佐目地区で247人。

芹谷栗栖地域振興事業

融雪装置を設置する財源は。

道路改良費を使う。融雪装置の水源は。谷水を利用する。

補正予算を可決

芹谷栗栖地域振興事業 1265万円(増) 融雪装置 多目的広場の整備

事業の決算

(万円)

区分	歳入	歳出	収支	事業内容
芹谷栗栖地域振興事業	3億4,810	3億4,809	1	集落道整備、地域おこし協力隊
下水道事業	4億3,480	4億1,227	2,253	維持管理、清掃委託
農業集落排水事業	5,385	5,091	294	施設(2カ所)の維持管理
工業団地緑地管理事業	1,008	957	51	草刈作業委託
水道事業	3億1,970	2億9,200	2,770	水道使用料、老朽管更新



高山市燦燦朝日館(100席の場合)

中央公民館建設に向け、高山市の木造ホールを視察し、可児市の空き家・空き地バンクについて研修しました

木造ホール(高山市)

地域産材の活用

- 高山市は森林面積が93%を占める。
- 岐阜県産材利用拡大モデル事業として建設。
- ホールは300席で可動式。ステージは電動昇降ステージ。
- 環境と景観に配慮
- 木のぬくもりを生かした構造。



研修の様子(可児市)

自治会独自の助けあい・支えあい活動

- 団地内の高齢化率は42.3%。
- 住民同士で買い物などの移動支援をする。
- 高齢者同士で支えあう活動が進んでいる。

空き家・空き地バンク(可児市)

高齢化が進む団地の現状

- 市民の4割が開発住宅団地に移住してきた。
- 団地での高齢化が進み、空き家の数は5年間で1000戸以上。
- 25年に空き家・空き地バンクを開設した。



介護サービスの流れ

ささえあい たすけあいのまちづくり

総務常任委員会

9/11

3事業の決算、請願2件を審査しました

国民健康保険事業

国保の広域化は。国は、平成30年までに、と考えている。

後期高齢者医療事業

町内の被保険者数は、75歳以上の方で、1306人である。

健康寿命を伸ばす方策は。

早期発見、早期治療、生活習慣の改善にある。

介護保険事業

介護予防教室の委託先は。

鈴木ヘルスケアサービスに委託している。

請願を審査しました

高浜原発の再稼働に関する請願書

社会福祉協議会の今後は。

事業所として地域福祉活動に取り組む。

所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める請願書

継続審査とした。

事業の決算

(万円)

区分	歳入	歳出	収支	事業内容
国民健康保険事業	8億5,669	8億5,402	267	医療費、特定検診
介護保険事業	7億5,055	7億4,283	772	介護給付、介護予防
後期高齢者医療事業	9,442	9,167	275	広域連合への負担金
育英事業	508	499	9	奨学資金の給付



神戸町幼保一体化の取組み

幼保一体化の事業

一体化までの経緯

- 社会の変化
- (小子化・核家族化・女性の社会進出など)
- 保育ニーズの多様化(長時間保育など)
- 人件費など経費増加
- 保護者の理解
- 園行事で、幼稚園と保育園が交流を深める。
- 広報誌で一体化をPR
- 保護者会で説明を重ね、理解を得る。



神戸幼稚園(長時部と短時部)

食育の取組み

- 自校・自園の給食方法から、学校給食センターを新設。
- 幼稚園から小・中学校までの給食を提供。
- 幼稚園の給食費を一部負担している。

岐阜県神戸町の幼保一体化について研修しました

「幼稚園」の開設

幼稚園と保育園の良さを活かす

施設は保育園を使用

- 運営は個々の制度で
- 1小学校区に1幼稚園
- 総合的な教育専門官を配置している。

質問事項	ページ
1 田畑喜久弘…………… P12 スマートインターの建設計画は	
2 菅森照雄…………… P12 芹谷ダム事業の今後は	
3 富永 勉…………… P13 今後の有害鳥獣対策は	
4 原田亀雄…………… P13 新中央公民館は必要か 「地方創生総合戦略」の進捗状況は 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設の誘致は スマートインターチェンジ開設に伴う対策事業の展開は	
5 川岸真喜…………… P14 クマの被害を防ぐ体制は まちづくり協議会の呼びかけを	
6 大橋富造…………… P14 プレミアム商品券販売実績と活性化の効果は 人口減少による自治体運営の消滅は 少子化対策は 町長の3選への意思は 庁舎に電光縦型掲示板の設置は	
7 竹内 薫…………… P15 町内施設の維持管理は 自然水利確保を	
8 山口久男…………… P15 放課後児童クラブの現状と対応は 山間集落での定住化策は 国民健康保険制度の広域化の問題は	
9 川添武史…………… P16 総合計画の達成度は	
10 深田治夫…………… P16 河内の風穴の今後は クマ被害の保険は	
11 土田一善…………… P17 ダブル選挙の根拠は 企業誘致と企業立地は 米価下落対策は 県道大堀多賀線の拡幅は 農道の除草(草刈)は	

(印は、掲載しておりません。)

9月定例議会

11人が一般質問 町政を問う



県事業

- ・水谷彦根線 2,320m
- ・水谷川護岸整備
- ・甲頭倉～下村 (拡幅、落石) 320m
- ・宮前集落内 90m

完成予定は、多賀醒ヶ井線については計画的に進める。

減額されているが、水谷彦根線については間に合わせたい。

前年度並みの道路予算は確保できているのか。

県事業

26年度県事業経過(繰り越し分)と27年度事業と今後の経過について説明をうけ現地視察した

町事業 (主なもの)

- ・上水谷 多目的運動広場
- ・集落道整備
- ・上水道整備
- ・ほ場整備(上水谷)
- ・墓地周辺 駐車場整備



現地視察(河内宮前)

地域活動支援交付金は、むらづくり懇話会で検討。

防雪事業は、水源に問題がある。

町事業

芹谷振興事務所は27年度で終わると聞いたが、継続したいと思うが県の判断。



委員会の様子

議員の役割を再認識。議員報酬だけで活動できるよう算定すべき。報酬は現状維持。

報酬は妥当か

定数は現状維持。10人が適当。人数が少ないと偏った結果につながる。

議員定数は妥当か

定数と報酬について議論しました

議会改革特別委員会 7/15

8/4

大滝山林組合との懇談会 7/7

今後の検討課題

- ・議員定数と議員報酬の妥当性
- ・議会の組織や委員会のあり方
- ・議会報告会の必要性
- ・開かれた議会へ



お茶の提供

傍聴者への対応は議案書の閲覧、一般質問の通知書を配布。お茶の提供

大滝山林組合と意見交換をしました

町産木材の現状は

中央公民館建設にかかる木材の製材は、製材業者に分割発注する。

大滝山林組合だけではないといえるのか。森林組合や営林組合にも協力を得たい。

スギ、ヒノキの市場単価は。

原木1mでスギ約1万5千円、ヒノキ約1万8千円。

シカをはじめ野生鳥獣や病害虫に関する被害が深刻であるが、テープ巻や防護ネット対策で対応している。国、県、町などの補助金を活用している。

宿泊施設の現状は

宿泊施設の利用状況は、6月末で1350人。

やまのこ事業の実績は、1886人。

企業の研修利用は、福利厚生で利用されることもある。



ミーティングルームでの懇談会



スマートインターの建設計画は 早期実現を目指す

副町長 田畑 喜久弘



多賀SA 名神高速道路・上り

国土交通省は今年6月、スマートインター設置に向けた国の支援対象に本町を含む17カ所を認定した。2024年に彦根市などと開催予定の国体までに開通を目指すところ。町は工業団地また多賀大社への利便性を強調してきたが、新たな渋滞の発生が予想される。

副町長 国土交通省は、6月30日に全国のスマートインターの計画要望箇所から、当該インターチェンジを準備段階調査箇所として選定した。これまで町が要望してきた条件を理解いただいたかと思っている。国道306号と307号の交通の要所であり、多賀大社をはじめとする観光集客数、周辺地域で操業される企業の数、サービスエリアの利用台数や利用者数など、インターチェンジの設置に向けて好条件がそろっている。今後、国の支援を受けての準備段階調査において、国・県・町ならびに中日本高速道路(株)のそれぞれの機関が調査分担を決め、建設可能条件を整えていく作業になる。駐車場については、検討する必要がある。



サルを捕獲する囲いワナ

今後の有害鳥獣対策は 計画数の捕獲をめざす

町長

町長 富永 勉



電柵完備により被害軽減が図られたと報告を受けた。報告されていない被害を含むと、まだまだ深刻だ。今までの方法では限界があり、昨年より捕獲力アップの目的で、「まるみえホカクン」が導入された。捕獲力アップの効果は出ているのか。金額に見合う効果があれば、増設するのか。

従来から講じてきた被害防止策は

猟友会員数の減少や高齢化等による、成果減少はないか。鳥獣被害防止特措法に基づき、「鳥獣被害対策実施隊」を設置でき、活動経費に対する特別交付税優遇措置を受けられるが、設置の考えはあるのか。設置後の有害鳥獣の動きの把握と対策は。27年度の捕獲計画数は。町長 現在、さほど影響はないが、今後の課題と考えている。既に設置しており、特別交付の対象である。設置により被害額は、約5千万円から3百万円へ大幅に減少している。27年度は、シカ1100頭、イノシシ110頭、サル100頭を計画している。



芹谷ダム事業の今後は 早期の事業完了を要望

町長 菅森 照雄



河内中村地先(河川・道路)

ダム事業も最終年度となった。町にとつて一番大きな問題であった芹谷ダム建設計画により、芹谷地域は長年ダム問題に翻弄され、社会資本整備が進まなかった。21年1月にダム事業が中止になり、県と町は基本方針の合意をした。以来、アクションプランにそつて5年を目途に整備を進めている。今年度で事業が最終年度となるが、水没地域と県道水谷彦根線はほぼ完了に近づいているが、県道多賀醒ヶ井線は事業遅れなど完了には程遠い。県は芹谷地域振興事務所を解散し、湖東土木事

務所に引継ぐとのことでさらに事業遅れが生じる。多賀町の考え方は。アクションプランの中で早期に着手する事業は。地元の方は5年で完了すると理解されているが、芹谷地域振興事務所の存続について県の見解は。町長 完了するまではダム事業として予算配分されるものと理解している。早期の事業着手を要望している。安養寺までの狭小部分、町としても5年で完了と理解している。明確な回答がない。

新中央公民館は必要か 生涯学習・災害非難所の 拠点として必要

町長

町長 原田 亀雄



第5次総合計画には、公民館建設の記載がなく、昨年の生涯学習あり方検討委員会での基本計画の内容をみても、建設の必要性は感じ取れない。総工費12億円。建設の全貌が少しずつ見え、反対の意思表示をする人もいる。建設に対し疑問を抱いている人に対し、理解できる説明を。町長 第5次総合計画策定委員会の答申では、生涯学習の拠点施設として、老朽化した公民館を建て替え、各世代の憩いの場とするところ。第5次多賀町総合計画の後期計画(5年)と、多賀町総合戦略(5年)の位置づけ、関連性と進捗状況は。町長 総合計画は全般的な施策を進めるための指針で、総合戦略は、主に人口減少問題を克服するための計画で、両者ともに関連性があり、連携を図りながら作業を進めている。



中央公民館建替え

「地方創生総合戦略」の進捗状況は

町長 総合計画は全般的な施策を進めるための指針で、総合戦略は、主に人口減少問題を克服するための計画で、両者ともに関連性があり、連携を図りながら作業を進めている。

質問1

町内施設の維持管理は

—総務課長—

施設総合管理計画を策定

竹内 薫



多賀中体育館

設総合管理計画策定委託料を認められ、策定に向け業務を発注している。従来の各課個別で行うのではなく、総合的に検討するものである。今回、指摘のあった施設の維持補修は、安価で済むうちに対処したい。

27年度予算で、公共施設総合管理計画策定委託料を認められ、策定に向け業務を発注している。従来の各課個別で行うのではなく、総合的に検討するものである。今回、指摘のあった施設の維持補修は、安価で済むうちに対処したい。

施設管理について、定期的に点検をし、補修が必要な箇所は、早期に予算を確保し、直す。それが、適切な管理であると思う。遅れば遅れるほど、後手にまわる。先日の視察の通り、学校の体育館の外部柱にかなりひどい浮き錆が発生していた。また、ささゆり保育園の外部階段にも錆がまわっていた。施設の維持管理について、町としてのよう

総務課長

総務課長

特に萱原、樋田、仏ヶ後、霜ヶ原地域は、消火栓の容量に限界があり、川と集落との高低差が大きく、水利の確保は最重要課題であり、各字の区長、自警団長、消防団、河川管理の県事務所など、関係者と協議したい。

大規模な改修や補修等も計画的な実施が必要と考えており、計画を作成し、財源も含め、今後検討していきたい。

質問2

自然水利確保を

消火栓や防火水槽は、あくまで初期消火に対応するもので、大火の場合には、飲み水にも影響し、限界がある。山間地での火災のように、近くに水利が有りながら利用が困難な場所が多く、水利の確保ができないのは大変問題である。

児童保育を必要とする家庭が増えている。現在、77人の児童が放課後を過ごしている。指導員の欠員が続き負担が重い。指導員の人材確保は、専任の指導員の配置基準はどうか。指導員研修は、

質問1

放課後児童クラブの現状と対応は

—教育総務課長—

引き続き人材確保にあたる

山口 久男



放課後児童クラブ

今後、5年間で県の研修に参加し、資格取得を行い、基準を満たす施設に努めたい。現在、実施できていないが、研修を行い、資質向上に努めたい。

教育総務課長

質問2

山間集落での定住化策は

聞き取り調査の進捗状況と内容は、聞き取り調査の分析、課題は、

副町長

教育面、住宅施策、交通対策、定住環境の促進課題解決策が重要。多賀町にふさわしい交通システムを検討したい。施策展開を整理しながら、具体的な活性化計画をまとめたい。

大滝地区の児童確保は、通学支援、公共交通の充実と改善は、具体的な施策と予算は、

地域整備課長

8月末の時点で、77人中42人の聞き取りを終え、中間協議を実施し、空き家の活用、高校生への交通支援、コミュニティバスの運行、高齢者向けの事業など多くの意見をいただいた。

「支援対策、意識改革、人口増加、少子化対策、情報発信」の5分類にて考察した。解決策が容易に見つかるものではなく、住民と議論が重要。

質問1

クマの被害を防ぐ体制は

—産業環境課長—

継続的な注意喚起に努める

川岸 真喜



住民への説明会



クマ対策、登校時の見守り

町内でクマによる人身事故が起こった。冬眠前の秋には、クマの活動が活発になると言われる。今後、人身事故が起きないためにも、十分な対策が望まれる。事故後の説明会で住民からの要望は、通学路、集落内での警戒体制は、今後の県の調査は、今後の県の要望は。

産業環境課長

企画課長

むらづくり活動を、近隣集落との交流事業や共同活動へとつなげていきたい。広域的な組織づくりの必要性は高まっているので、今後検討していく。

質問2

まちづくり協議会の呼びかけを

集落間の支えあいのためにも、まちづくり協議会の設置に向けた積極的な呼びかけをしては。

質問1

プレミアム商品券販売実績と活性化の効果は

—産業環境課長—

より多くの消費喚起効果を期待

大橋 富造



たがプレミアム商品券

質問2

人口減少による自治体運営の消滅は

2040年までに人口減少により自治体運営が消滅する可能性があるとの報道された。町長としての所感は、

質問4

町長の3選への意思は

立候補する予定である。

産業環境課長

本事業は、国の支援交付金により実施し、経済効果やその他効果が分析できる、国指定のアンケートを用い、消費喚起効果を国に報告する。2000セット用意したが、1000セット残った。追加で10月頃に約1000セット販売予定。

町長

既に早くから危機感を持ち、子育て、人口減少、少子化対策に取組み、今後も、人口減少に歯止めをかけるべく、推進する。

質問3

少子化対策は

少子化対策によって出生に大きな差があるのか。先進地を研究し、良い部分を取入れては。対策をどのような位置づけで考えているのか。

町長

子育て支援の充実により、出生率が高くなる。先進地を視察し、良い部分は取入れるべき。町にとって最重要課題



川添 武史

総合計画の達成度は —町長— 予定どおり進捗

26年度決算では、町税が増収となった。進出企業からの法人税増や消費税増によるものである。交付税は減少している。事業の執行率が低い。

決算では不用となった金額が多い。事業は予定どおり実施したか。

今年度の事業の執行率は7月末で20%である。土木費と農林水産業費で、事業の遅れがあると報告された。現状は、

新年度の予算編成の方針は、優先度の高い施策は、各課からの予算要求と人事評価との関係は、



第5次多賀町総合計画



監査委員の意見書

26年度決算については、当初に予算計上した事業はほぼ予定どおり進捗したと考える。総合計画の達成に向け取り組んだ。不用額が生じたのは、効率的な事業の執行に努めた結果である。

順調な進捗と考えている。土木費、農林水産業費では、工事の発注は順調である。

優先施策については、各課からの予算要求を受け、総合計画の達成状況も勘案しながら、できるだけ早く各課へ通知したい。人事評価には、影響しない。



土田 一善

ダブル選挙の根拠は —総務課長— 選挙事務の合理化

来年3月には、町長と議会議員の選挙が実施される。

ダブル選挙になった根拠は、選挙運動期間に、県立高校の入学試験がある。受験生に配慮する日程としては、

総務課長

公職選挙法では、町長と議会議員の選挙を同日に行うことができる。手続きや投票事務の効率化から同日選挙になったと思われる。選挙の日程については選挙管理委員会が28年3月13日に決定した。

質問1

企業誘致と企業立地は

町長

本町にとって重要な課題と捉え、今日までも積極的に企業と接触を図ってきた。

ポスター掲示場(24年3月)

町長

米価下落対策は

質問3

産業環境課長

J A 東びわこに対し、米価格を少しでも高く引き受けるよう強く要望する。連携して多賀産米の付加価値を上げるよう取り組む。

質問4

県道大堀多賀線の拡幅は

地域整備課長

引き続き、彦根市との協議を進め、町の要望はもちろん、彦根市の来年度の要望事項となるよう努めていきたい。

質問5

農道の除草(草刈)は

産業環境課長

農業者や地域住民が協力し、農道や農地の草刈りをしていただいている。作業規模に応じて補助金を助成。各集落の愛護活動でお願いしている。



深田 治夫

河内の風穴の今後は —町長— 観光誘致に取り組む



夏場の渋滞の様子(河内宮前)

町長

風穴には、年間1万5千人が観光に訪れている。洞窟の総延長も伸びると調査されている。文化財としての価値も高い。

現在、風穴までの道路、駐車場、トイレ等の整備が万全でなく、観光客のみなさんに不便をかけている。

道路については現在、県が整備中である。駐車場、トイレは地元住民の皆様と協議しながら検討したい。

学術的価値のある自然を損なわない形で、観光誘致に取り組みたい。

質問2

クマ被害の保険は

クマによる被害への補償が十分ではない。集落単位で保険に入るなどの対応をしてはどうか。

町長

クマによる被害に特化した保険商品がない。傷害保険のなかには、日常の事故を保障する保険もあるが、保険料が高くなる。保険加入については、個人での対応をお願いしたい。

町としては、看板設置や目撃情報の提供など、注意喚起に努める。

子ども議会が開かれました

7/30

12人の議員が登場

子どもの視点から町政を問いました



質問を紹介します

- 多賀町に住み続けたいが、住宅地の開発は (本多議員)
- 多賀町のふるさと納税の記念品は (小野議員)
- クマ被害の対策は (川添議員)
- 多賀町の獣害対策は (土坂議員)
- 多賀町の観光客を増やす対策は (濱野議員)
- 多賀町の災害対策は (岸本議員)
- 多賀中学校の歴史は (伊藤議員)
- 多賀町の文化財保護対策は (伊藤議員)
- 高取山の新しい施設の利用状況は (蓮井議員)
- 夏休みに子どもが遊べる施設の充実は (村田議員)
- 多賀町の少子高齢化対策は (鍛冶谷議員)
- 10年後の多賀町の姿は (小財議員)

子ども議員を紹介します

- | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|--------|-------|-------|
| 本多 快 | 小野 龍星 | 川添 愛姫 | 土坂 光星 | 濱野 天勇 | 岸本 凌汰 | 伊藤 楨 | 蓮井 悠吾 | 村田 葵 | 鍛冶谷 明歩 | 森田 大雅 | 小財 聖奈 |
| 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 |



たがいいとこ再発見!!

第7回

多賀と
尼子

多賀

大辻 利信さん

《日向神社(式内社)》

家内安全・国家安泰・結婚成就のご利益がある

Q 集落のいいところは。

A 老若男女が集まれるイベントにより、住民の絆づくりを主眼に頑張っています。

Q 伝統行事は？

A 多賀大社の境内の片隅でひっそりとたたずむ日向神社(式内社)のお祭りです。

古くから久徳村・多賀村が管理し、現在では、久徳・多賀の氏子総代さんが、4月24日と10月1日の例祭に参列します。

尼子

重盛 孝文さん

《お池さん》

Q 集落のいいところは。

A 多くの行事を通して、住民間の交流を深めています。

Q 伝統行事は？

A 一年を通し水の絶えることのない、お池さんのお祭りです。

(むかし話があります) ある日、殿様が霊仙山に狩りに出たとき、うずくまり苦しんでいる一人のお姫様を見つけ、お屋敷に連れ帰り、まもなく二人は、結婚しました。水浴びが大好きな奥様は、毎日お池さんに水浴びに来られました。ある日、屏風の隙間か



伝統
継承

お池さんの社(やしろ) 参道



お池さんの社(やしろ)

参道

議会を傍聴してみませんか？ 12月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
12月3日	3日(木) 9:30~ 議案審議
12月17日	4日(金) 9:30~ 一般質問
(15日間)	17日(木) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126 (有線) 2-2011

原稿募集!!

あなたの住んでおられる地域の自慢をお聞かせください。
【応募資格】 多賀町にお住まいの人
【応募方法】 200字程度
【募集期間】 平成28年 1月5日(火)



編集後記

今年は何年か60周年です。11月8日は記念式典が開催されます。暑い夏も過ぎ冬も近づいてきました。本号は皆さんの税金がどのように使われたのかなど、記事が盛りだくさんの内容になりました。限られた紙面の中で見やすくわかりやすく、議会でのようなことが行われているのか伝えてまいります。田畑 喜久弘 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ http://www.town.taga.lg.jp/
E-mail gikai@town.taga.lg.jp